

# 神戸女学院大学における地域連携の取組について



## 神戸女学院大学の地域連携方針

2025年に創立150周年を迎える神戸女学院のもと、神戸女学院大学は、建学の理念である「愛神愛隣」の精神に基づき、地域・社会に開かれ、ともに歩む大学として、学生、教職員が学びと研究の成果を地域・社会に還元できるよう、課題に取り組みます。

PICK UP

神戸女学院大学 岡田山キャンパス(国の重要文化財に指定)

## 大学の研究者



環境・バイオサイエンス学科  
高橋 大輔 教授

### ■ 主な研究内容

動物生態学

動物の生態や行動、生物同士の関係性を明らかにし、生物多様性を保全する具体的な方法を考えています。

湖沼や河川、里地里山におけるフィールドワークや室内実験を行っています。

※研究者の経歴等は

(URL: [https://www.kobe-c.ac.jp/learning/kyoin/takahashi\\_daisuke/](https://www.kobe-c.ac.jp/learning/kyoin/takahashi_daisuke/))をご参照下さい。

デジタル技術の活用  
(装置・デバイス)



## 地域課題解決に向けた活用例

### ■ 活用分野

教育・環境

### ■ 活用例

タブレット端末の教育現場での活用

- ・ 保育所の子どもたちに自然への関心を高めてもらい、SDGsに繋がる新しい学びの場を提供するため、タブレット端末を活用し、オリジナルの生き物図鑑を作成

# 地域との連携形態について

## 地域との連携形態

神戸女学院大学では学長室が地域連携の窓口となっています。連携事業や講師派遣などのお問い合わせがありましたら、総合窓口として、本学教員とのマッチングを行います。

### 連携先

- 行政機関
- 地域団体・NPO
- 民間企業
- 他大学

### 神戸女学院 大学学長室

- 教員の講師派遣
- 行政・地域企業との連携事業
- 公開講座の開催

学内と学外のマッチング

### 神戸女学院大学

- 国際学部
- 文学部
- 音楽学部
- 心理学部
- 生命環境学部

SUSTAINABLE  
DEVELOPMENT  
GOALS



※生命環境学部は2025年度から設置

# 地域との連携実績について

## 地域との連携実績

神戸女学院大学は地域・社会連携ビジョン(2024-2030年度)を策定し、地域・社会のステークホルダーとの連携強化を進めています。兵庫県、西宮市、芦屋市及び宝塚市と包括連携協定を締結し、地域社会の問題解決に取り組んでいます。

### ・過去の連携実績

年度	件数	主な連携事例
2023年	90件	芦屋市との連携(総合計画市民アンケートの英訳、幼稚園向けコンサートの実施子供向け食教育や自然観察を実施)、西宮市との連携(図書館利用案内のパンフレットを外国人の方に読みやすいやさしい日本語に変換)、宝塚市との連携(ストリートピアノを周知するためのコンサートを実施)

### 連絡先

神戸女学院大学 学長室

TEL: 0798-51-8533

Mail: p-office@mail.kobe-c.ac.jp